

Zen v15 SP1 既知の問題

一般リリース – 2022 年 7 月

Zen v15 SP1 (build 15.10.032) には、リリース時に以下の既知の問題がありました。以前のリリースと比較して修正された不具合および機能強化については、エージーテック [Web サイト](#) で Zen v15 SP1 修正履歴を参照してください。

また、Zen の今回のリリースや以前のリリースのリリース ノート、および修正プログラムのリリース ノートをご覧になり、広範な修正や機能強化を確認されることをお勧めします。いくつかは、ここに記載されている問題に対処している可能性があります。

問題はそれぞれ、次の各見出しセクションに一覧表示されています。一覧に挙げる問題は、最新のものから古いものの順に示します。

- [クライアント リクエスター / 通信](#)
- [インストール](#)
- [MicroKernel エンジン](#)
- [SQL および Reporting Engine](#)
- [各種ユーティリティ](#)
- [Unicode](#)
- [Distributed Tuning Interface \(DTI\)](#)

クライアント リクエスター / 通信

追跡番号	説明
PSQL-5102	クライアントとサーバー間の通信セッションが有効でなくなった場合に、ステータス 95 ではなくステータス 170 が返されます。

インストール

追跡番号	説明
PSQL-8399	Client Reporting Engine をアップグレードすると、自動再接続タイムアウト値がデフォルト値にリセットされます。
PSQL-5131	128 バイトより長いインストール先パスを使用してインストールを行うと、MicroKernel が起動しなくなります。

MicroKernel エンジン

追跡番号	説明
PSQL-8551	データベース エンジンの [デバッグ] プロパティにある [トレースするオペレーションの選択] リストに Delete Extended オペレーションが含まれていません。
PSQL-5109	クライアントによって排他モードで開かれたファイルのロール フォワードは、エラー 88 で失敗します。

Zen 既知の問題

追跡番号	説明
PSQL-5107	<p>Windows 2008 以降のバージョンで 2 つの異なるシンボリックリンクを使用してファイルにアクセスすると、ステータス 85 (ファイルはロックされている) になります。2 つのアプリケーションが 2 つの異なるシンボリックリンクを使用してファイルにアクセスした場合、2 番目に開いたアプリケーションはステータス 85 (ファイルロック) になります。たとえば、このステータスコードが予想されるのは、1 つのアプリケーションが次のファイルを開き、</p> <p>C:\ProgramData\Actian\Zen\Demodata\Class.mkd</p> <p>別のアプリケーションが次のファイルを開いた場合です。</p> <p>C:\Users\All Users\Pervasive Software\PSQL\Demodata\Class.mkd</p> <p>回避策：両方のアプリケーションで同じパスを使用してファイルを開きます。</p>
PSQL-5022	<p>読み取り専用の仮想ディスクにあるファイルに対して Btrieve の Update オペレーションを実行すると、予想されるステータス 46 ではなくステータス 94 が返されることがあります。</p>

SQL および Reporting Engine

追跡番号	説明
PSQL-9594	<p>OVER 句の ORDER BY 列で DESC キーワードを使用すると、正しい順序の結果にならない可能性があります。</p>
PSQL-8848	<p>処理が重い場合、ローカルの SQL アプリケーションからの接続要求に対してデータベースエンジンが応答しないことがあります。</p>
PSQL-5515	<p>Reporting Engine に接続されているクライアントは、ストレージエンジンを停止して再起動した場合、データにアクセスできません。</p>
PSQL-5116	<p>エンコードが異なるリモートデータベースからデータを引き出した場合、データが破損していることがあります。</p>
PSQL-5111	<p>ビューを保存すると、ユーザーによって指定された列名が失われます。</p>
PSQL-4980	<p>古い 3.x 形式の DDF から一部のインデックス定義が正しくエクスポートされないことがあります。</p>

各種ユーティリティ

追跡番号	説明
PSQL-8894	<p>システムデータ v2 を含むファイルの butil -clone を実行した場合、データベースエンジンのファイル互換性プロパティで [作成ファイルのバージョン] が 13.0 以外に設定されていると、ステータス 41 で失敗することがあります。</p>
PSQL-8884	<p>AES-256 暗号化を使用したファイルに対して Rebuild または rbuildcli ユーティリティを使用すると、リビルドされたファイルは AES-192 暗号化を使用したファイルになります。</p>
PSQL-5135	<p>DDF Builder では 119 を超えるインデックスを持つファイルを保存することができません。</p>
PSQL-5133	<p>DDF Builder では、国際化ソート規則 (ISR) を使用するファイルのテーブル定義を作成できません。DDF Builder は現在、警告を発生しません。</p> <p>データファイルが ISR を使用しているかどうかを判断する場合、キーに ACS フラグの 1 つがあるときは、その ACS の 265 バイトを調べます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 識別バイトが 0xAC の場合は、ユーザー定義 ACS です。 識別バイトが 0xAD の場合は、ローカル固有の ACS です。 識別バイトが 0xAE の場合は、ISR です。

追跡番号	説明
PSQL-5132	Function Executor のオーナー ネームのクリアは、正しいオーナー ネームが提供されても " 不正なオーナー ネーム " メッセージを返すことがあります。 回避策 : オーナー ネームを指定してファイルを開いてから、オーナー ネームをクリアしてください。
PSQL-5130	butil @commandfile では引用符で囲まれたパスを正しく使用できません。
PSQL-5129	PCC で、保護されたデータベースの [バウンド] プロパティを設定すると、一般エラーが発生します。
PSQL-5126	DDF Builder は GUID のプレビュー値を表示しません。
PSQL-5123	Rebuild GUI ユーティリティのキャンセルが機能しません。
PSQL-5122	DDF Builder はデータベース チェック中に、オーナー ネームを持つテーブルのオーナー ネームを、キャンセル操作しても何度も要求します。
PSQL-5119	bcfg の [最小の状態に戻す待ち時間] の範囲の説明が間違っています。
PSQL-5118	DateTime のプレビューはミリ秒値を表示しません。

Unicode

追跡番号	説明
PSQL-5805	アプリケーションが ICU (International Components for Unicode) 照合順序のファイルを読み取ろうとした場合、キャッシュ エンジンにステータス 135 " 指定された国際的なソート規則 (ISR) テーブルは破損しているか、または不正です " を返します。

ソフトウェア開発キット (SDK)

Distributed Tuning Interface (DTI)

追跡番号	説明
PSQL-8761	DTI カタログ関数 PvGetTableStat*() は、システム データとシステム データ v2 を区別しません。